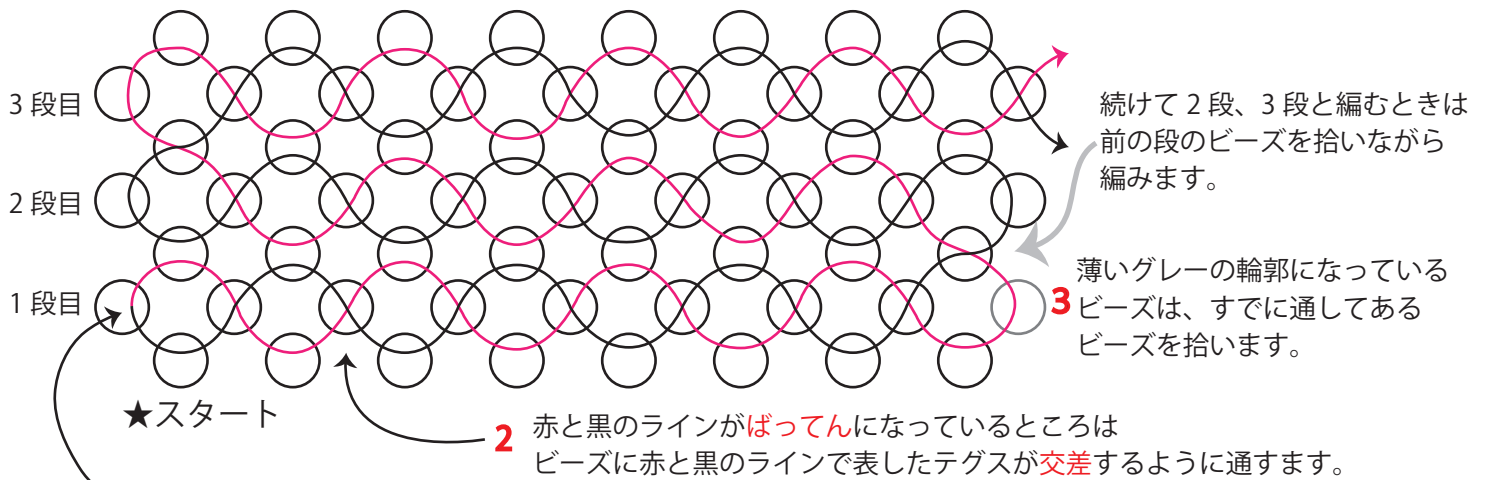


ビーズドレスを編むときの交差編み（8の字編み）の基本

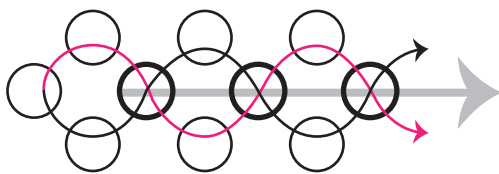


1 テグスを表すラインの色が赤と黒に分かれていますが、1本のテグスです。

赤と黒が接している部分が使用するテグスの中心です。

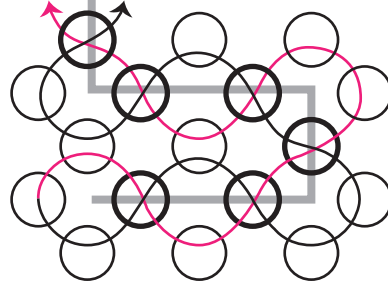
(例：テグスを1m使用するとしたら端から50cmのところ★スタートの位置にあたります。)

交差している方向に進みます。



これを1目と言う

方向を変えたいときは
交差する位置を変えます。

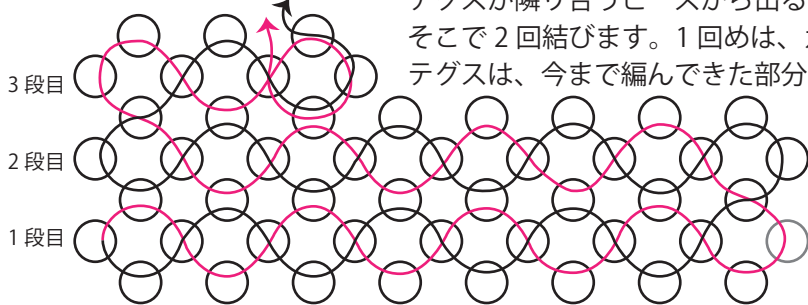


スカートなどテグスをたくさん使うときは、編みやすい長さに（例：2m）

カットして編み足しながら進みます。編み足しは段の途中でもかまいません。

残りのテグスが短く（約15cm位）になったら一旦結んで処理して、新しいテグスで続きを編みます。

●処理の仕方

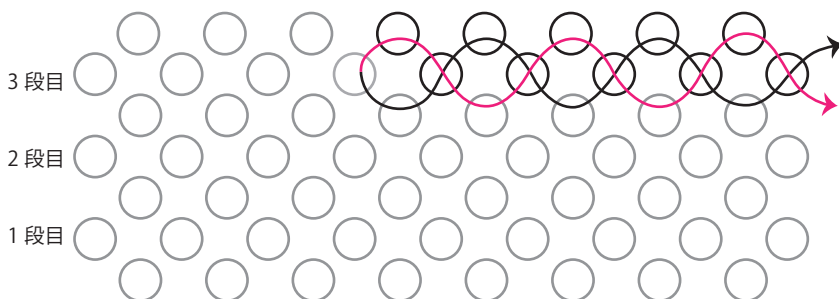


テグスが隣り合うビーズから出る位置まで移動させて

そこで2回結びます。1回めは、カタ結び 2回目は輪に2回くぐらせカタ結びをします。

テグスは、今まで編んできた部分にいくらか隠し通してからカットします。

新しいテグスを最後のビーズに通し続きを進みます。



tutu*

tutu-beads.com